

点検・評価シート（2）

第 3 次大和市生涯学習計画

事務事業の概要

◆ 評価の基準について ◆

○目標（11 の中項目）の「総合評価」

A評価	目標の実現に向けて、期待を上回る結果が表れている。
B評価	目標の実現に向けて、期待された結果が表れている。
C評価	目標が実現に向けて、期待された結果が表れていない。

○小項目の「達成度」

A評価	施策の進捗状況が、22 年度に期待された結果を上回っている。
B評価	施策の進捗状況が、22 年度に期待された通りの結果になっている。
C評価	施策の進捗状況が、22 年度に期待された結果を下回っている。

中項目 (1) 情報の提供

〔目標〕 生涯学習各関係機関の機能を明確にし、情報システムを確立するとともに、その普及・活用を図ります。

主な事業と平成 22 年度の実績

＜小項目①＞ 情報提供の充実

- ・ 多様化した市民ニーズに応えるため、関連情報の収集・蓄積・提供の充実に努めます。
- ・ 市民が、いつでもどこでも自分にあった方法で情報が取得できるよう、情報誌やインターネットなど様々なメディアを使った情報提供に努めます。
- ・ 図書の活用促進と、図書館のレファレンス機能の充実に努めます。

(1) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報	2,835 件
事業・講座情報	1,955 件
資格・試験情報	47 件
ボランティア講師制度情報	345 件
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	14,110 人
その他	6,372 件

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

(2) 青少年センター運営事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成のため、青少年・青少年団体等へ施設を提供しました。また、大和市のホームページの体系の中で、青少年関係のページの内容の充実と情報の随時更新を行いました。

・ 青少年センター利用者総数 41,282 人 (前年度 44,491 人)

・ 青少年センター個人・団体別等利用者数

個人：2,441 人 / 団体：36,063 人 / 自主事業：2,778 人

・ 青少年センター区分別利用者数

幼児	7,601 人	保護者	7,625 人	小学生	7,376 人
中学生	1,123 人	高校生	327 人	学生	1,055 人
勤労青年	2,362 人	指導者	3,204 人	その他	10,609 人

・ 情報提供項目数 67 項目

〔活動指標〕 情報提供項目数 (ホームページ) 予定 67 件 実績 67 件

(3) 図書情報提供事業

[担当] 図書館

- [事業内容]
- ・ 図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。
 - ・ インターネットによる予約受付を行いました。
 - ・ ブックリスト・図書館報を作成しました。



[活動指標] 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 8,300 冊 実績 9,500 冊

<小項目②> 学習相談の充実

- ・ 生涯学習情報システム「やまと生涯学習がいどぶっく 電子版」等を活用した相談体制の充実を図ります。
- ・ 学習センターでの学習相談をはじめ、青少年センターや子育て支援センター等での教育相談等、市民一人ひとりの実情に合わせた、きめ細かい相談事業の充実を図ります。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	2,835 件
事業・講座情報	1,955 件
資格・試験情報	47 件
ボランティア講師制度情報	345 件
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	14,110 人
その他	6,372 件

[活動指標] サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

＜小項目③＞ 支援者の充実

- ・ 生涯学習活動を支援する行政側のスタッフ（学習相談員、社会教育指導員、社会教育主事、司書等）の充実に努めます。
- ・ 地域における人材情報の収集・蓄積・提供を行い、生涯学習ボランティア講師の充実に努めます。

(1) スポーツ指導者育成支援事業

【担当】 スポーツ課

【事業内容】

- ・ 大和市体育指導委員連絡協議会に対して補助金を交付しました。
- ・ 他市交流研修会を実施しました（相模原市・鎌倉市・大和市 43 人参加）。
- ・ 神奈川県体育指導委員連合会研修会へ派遣しました（3 回、延べ 74 人参加）。
- ・ 関東体育指導委員研究大会へ派遣しました（埼玉県 19 人参加）。
- ・ 全国体育指導委員研究協議会へ派遣しました（岐阜県 16 人参加）。

【活動指標】

各部会実施回数

予定 20 回

実績 22 回

(2) 青少年指導者育成支援事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】

青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

【活動指標】

青少年指導員年間活動数

予定 330 件

実績 456 件

(3) 図書ボランティア養成講座事業

【担当】 図書館

【事業内容】

- ・ 図書ボランティアの養成を行いました。
- ・ 養成講座やボランティアのつどい（市内活動団体の交流会）を実施しました。

読み聞かせボランティア養成講座

乳幼児編 : 3 回実施・延べ 80 人参加

初級編 : 2 回実施・延べ 63 人参加

中級編 : 3 回実施・延べ 92 人参加

ストーリーテリングボランティア養成講座 :

3 回実施・延べ 25 人参加

ボランティアのつどい : 1 回実施・16 団体・31 人参加



【活動指標】

ボランティア養成講座受講者数

予定 180 人

実績 260 人

教育委員会の自己点検・評価

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (1) 情報の提供		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①②は、事業展開を成果に結びつける工夫が必要です。小項目③については、積極的に事業を展開しており、期待どおりの成果が現れています。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】情報提供の充実	施策の達成度 B
各学習センターや図書館等で行っている様々な情報提供については、市民一人ひとりの学習意欲が高められるように、幅広く行いました。	
【小項目②】学習相談の充実	施策の達成度 B
学習相談の実績は、相談件数の多寡にそのまま表われるものではありませんが、市民ニーズに留まることなく、様々な情報提供を行いながら、サークル団体の運営に関する相談など、きめ細かい対応を行いました。	
【小項目③】支援者の充実	施策の達成度 A
生涯学習支援については、社会教育主事、社会教育指導員、司書など多くのスタッフがかかわり、様々な支援を行っています。	
図書館ではボランティア養成講座の充実とPRに努め、延べ参加人数が増加しました。(延べ参加人数：H21年度 160人⇒H22年度 260人)	
今後も、生涯学習活動を支援するため、人材育成に努めていきます。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22年度実績	H23年度目標	コメント
(1)「生涯学習がいどぶっく」発行部数	3,500部	3,500部	前期2,500部、後期1,000部の発行が十分な数であり、これを維持することを目標にします。
(2)図書情報冊子(ブックリスト)発行部数	9,500部	9,000部	H19年度実績の5,200部をベースとして、毎年15%増を目指します。H22年度は、H21年度の発行部数8,800冊を上回りました。
(3)図書リサイクルフェア参加者数	1,171人	1,250人	H19年度実績の1,200人をベースとして、毎年1%の参加者増を目指します。
(4)文化財収蔵資料見学者数	22人	50人	H19年度前後の平均の50人をベースとして、維持を目指します。

2. その他、事務事業に関する特記事項

「生涯学習がいどぶっく」については、平成22年度から前期・後期に分けて年2回発行し、より最新の情報を提供するよう努めました。また、新たな取り組みとしてブックスタート事業を開始し、絵本の配布と読み聞かせを行い、読書の喜びを伝えることができました。

中項目(2) 学習機会の提供

〔目標〕 全庁的な連携と協力体制を強固なものにし、体系化された学習機会の提供と、市民ニーズに合致した新しい事業の創出に努めます。

主な事業と平成22年度の実績

<小項目①> 市民ニーズに応じた学習機会の提供

- ・ 全庁で実施している事業を有機的なつながりをもって提供できるように、重複事業の一元化を図り、効果的な事業を実施していきます。
- ・ 分野別／難易度別に体系化した学習機会の提供に努めます。
- ・ 実施時間／曜日／保育付きなど市民の多様なライフスタイルに配慮した、参加しやすい講座を実施します。

(1) 青少年育成事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年を対象とした、社会・自然体験推進のため、大和ユースクラブに事業を委託しました。

<会員数>

わくわく冒険隊 : 70人 ジュニアシニアクラブ : 58人

ユースボランティア : 19人

- ・ 子どもが自由に活動できる場所を提供しました。

子ども広場 … 毎週水曜日の午後と土曜日、夏休み中に体育室を開放しました。

ユースクラブ … 宿泊研修、野外活動体験等の活動を実施しました。

中高生ボランティア … 夏休み中の子ども広場をボランティア体験の場として実施しました。

〔活動指標〕 ユースクラブ活動日数

予定 120日 実績 65日

(2) 少年洋上体験事業

〔担当〕 こども・青少年課

〔事業内容〕 青少年健全育成基金を原資とし、帆船「あこがれ」をチャーターし、3泊4日のセイルトレーニング（本研修）と、事前・事後研修を実施しました。

- ・ 参加者数 30人（前年度 30人）
- ・ 本研修 8月19日(木)～22日(日)
- ・ 発着港 大阪南港～紀伊水道近郊～大阪南港

- ・ 事前・事後研修
8月8日(日)、
8月29日(日)

〔活動指標〕 参加者数

予定 30人

実績 30人



(3) 講座等開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 60 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
35 事業（同上 29 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 72 事業（同上 30 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）



【活動指標】 開催講座数 予定 130 事業 実績 191 事業

(4) 市民大学事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース（6 回開催）
「坂本龍馬の生涯」を知る
- ・現代を知るコース（5 回開催）
「日本の世界遺産」～世界遺産で見る日本の特質と魅力～
- ・現代を知るコース（5 回開催）
「免疫のしくみ」
～自分の健康は自分自身の力で保つ事が大切です～

【活動指標】 講座回数
予定 16 回 実績 16 回



(5) 図書資料貸出事業

【担当】 図書館

- 【事業内容】
- ・利用者が図書館に求める資料を収集しました。
 - ・未所蔵の資料について、相互貸借システムなどにより提供しました。
蔵書冊数（市内図書施設合計） 418,957 冊（前年度 408,727 冊）
 - ・大和駅、中央林間駅への図書返却ポストの設置

【活動指標】 資料貸出冊数 予定 1,056,000 冊 実績 1,045,516 冊

<小項目②> 現代的課題に関する学習機会の提供

- ・ 関連計画との整合を図り、庁内で連携した学習機会の提供に努めていきます。
- ・ 現代的課題を生涯各期の学習機会の中に体系化し、それぞれの年代に応じ学習機会の提供に努めていきます。

(再掲) 講座等開催事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・ 生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 60 事業）
- ・ 現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
35 事業（同上 29 事業）
- ・ その他事業（音楽会や発表会等） 72 事業（同上 30 事業）
- ・ 協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）

[活動指標] 開催講座数 予定 130 事業 実績 191 事業

(再掲) 市民大学事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・ 人間を知るコース（6回開催）「坂本龍馬の生涯」を知る
- ・ 現代を知るコース（5回開催）「日本の世界遺産」
- ・ 現代を知るコース（5回開催）「免疫のしくみ」

[活動指標] 講座回数 予定 16 回 実績 16 回

<小項目③> 生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供

- ・ 地域住民の主体的なスポーツ活動を支援し、定期的・継続的なスポーツ活動の充実を図ります。
- ・ 生涯スポーツ事業を年代別・難易度別に体系化し、行事や教室等の提供に努めます。
- ・ スポーツ水準の向上を図るための事業を提供していきます。
- ・ 心身の健康管理や病気予防等の知識が身につく講座を開催するなど、健康を維持増進するための学習機会を提供していきます。

(1) スポーツ教室開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] スポーツ教室の開催を(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団に委託して実施しました。

開催教室：9 種目 10 教室（前年度 9 種目 11 教室）

- ・ トランポリン教室 2 回
- ・ 障がい者卓球教室 1 回
- ・ 健康体操教室 1 回
- ・ はじめてのヨガ教室 1 回
- ・ はじめての親子体操教室 1 回
- ・ 親子ふれあいサッカー教室 1 回
- ・ ソフトバレーボール教室 1 回
- ・ 市民体力づくり歩け歩け運動 1 回
- ・ スポーツマッサージ教室 1 回

参加人数計：425 人（前年度 394 人）

[活動指標] 開催種目数 予定 9 種目 実績 9 種目

(2) スポーツ大会開催事業

[担当] スポーツ課

[事業内容]

各種スポーツ大会の開催を支援しました。

<開催実績(参加チーム数・人数等)>

- ・大和市民総合スポーツ選手権大会 5,630人 (前年度 4,775人)
- ・大和市民駅伝競走大会 99チーム (同上 137チーム)
- ・スポーツフェスタ 1,105人 (同上 1,285人)
- ・大和市民ゴルフ大会 157人 (同上 286人)
- ・大和市民まつりスポーツイベント 2,250人 (同上 1,700人)
- ・なでしこサッカーin やまと 1,200人

[活動指標]

開催回数

予定 6回

実績 6回



大和市民駅伝競走大会

(3) 学校施設スポーツ開放事業

[担当] スポーツ課

[事業内容]

スポーツ及びレクリエーション活動の場として市内小中学校の校庭・体育館・武道場・プールを開放しました。

	利用件数		利用人数	
	H22	H21	H22	H21
校庭開放	3,801	3,705	192,991	196,897
体育館開放	8,973	11,402	199,063	247,042
プール開放	(14校で開催)	(18校で開催)	8,639	9,584

※プール開放期間 7月22日～8月15日

[活動指標]

登録団体数

予定 550団体

実績 461団体

(再掲) 市民大学事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容]

市民の高度な学習ニーズに対応するため、専門的な分野の内容を系統的、継続的に学習できる機会を提供しました。

- ・人間を知るコース(6回開催)「坂本龍馬の生涯」を知る
- ・現代を知るコース(5回開催)「日本の世界遺産」
- ・現代を知るコース(5回開催)「免疫のしくみ」

[活動指標]

講座回数

予定 16回

実績 16回

<小項目④> 芸術・文化に関する学習機会の提供

- ・ 芸術・文化活動への市民の関わりを深め、広げていきます。
- ・ 地域文化創造の基盤となる文化遺産の継承と周知を図っていきます。

(1) 文化芸術振興事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

下記の事業を開催しました。

- ・ コミュニティ音楽館 (来場者数 996人)
- ・ 文化祭 (出品数 210点)
- ・ ダンスフェスティバル (出場者数 21組)
- ・ さくら文芸祭 (出品数 137点)
- ・ 第6回大和文芸映画祭 (入場者数 762人)



文化祭の様子

【活動指標】 コミュニティ音楽館の開催日数 予定 13日 実績 13日

(2) 音楽・演劇フェスティバル開催事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】

- ・ 音楽フェスティバルは、吹奏楽の部と合唱の部ごとに単独のイベントとして、それぞれの参加団体による実行委員会に委託して実施しました。

音楽フェスティバルの開催 : 2回

- ・ 演劇フェスティバルは、市内で文化活動として演劇に携わる人たちによる実行委員会に委託し、実施しました。

演劇フェスティバルの開催 : 1回

【活動指標】 音楽・演劇フェスティバル参加団体数 予定 35団体 実績 27団体

(3) 埋蔵文化財保護事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

- ・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者の照会を行いました。 1,272件 (前年度 1,194件)
- ・ 埋蔵文化財包蔵地等の開発行為を行う個人・事業者との協議を行いました。 80件 (同上 94件)
- ・ 埋蔵文化財の発掘調査を行いました。 35件 (同上 26件)

【活動指標】 文化財保護法上の事務件数 予定 111件 実績 94件

(4) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

指定管理者による管理運営を行いました。

指定管理者 : 財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園者総数 : 27,943人 (前年度 26,002人)

【活動指標】 行事参加者数 予定 645人 実績 345人

(5) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店

入館者数：7,378人（前年度7,562人）



ふるさと館の外観



母屋

【活動指標】

一般公開日数

予定 296日 実績 303日

(6) つる舞の里歴史資料館運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】

- 資料管理、来館者への説明、普及事業などを行い、市民の方々の歴史に関する理解を深めました。
- 常設展を開催するほか、企画展「漫画家・村上もとかの世界 一村上作品の魅力を探る」を開催しました。

開催期間：

平成22年11月27日

～同23年1月13日

入場者：2,644人



【活動指標】

年間入場者数

予定 4,000人 実績 6,131人

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (2) 学習機会の提供		総合評価 A
目標の実現に向けて	小項目①②③は、事業の充実により期待以上の成果が表れています。 小項目④については、引続き積極的な事業展開を行います。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】市民ニーズに応じた学習機会の提供	施策の達成度 A
成果指標(1)をはじめとする各種講座など、市民ニーズに対応した学習機会の提供は、ほとんどの事業で前年度実績を上回っており、市民の学習意欲の向上を図ることについて望ましい成果が表れています。	
【小項目②】現代的課題に関する学習機会の提供	施策の達成度 A
市民大学では、毎年、現代的課題や社会情勢をテーマにした講座を開催しており、好評を得ています。学習センターで実施する各種講座も前年実績を大幅に上回っており、多様な市民ニーズに充分に対応しているといえます。	
【小項目③】生涯にわたるスポーツと健康維持・増進のための学習機会の提供	施策の達成度 B
市民の健康増進の観点からスポーツ意欲を高めるために、各種スポーツ大会やスポーツ教室などを実施していますが、成果指標(5)のとおり、市民が積極的にスポーツに参加している状況が現れております。	
【小項目④】芸術・文化に関する学習機会の提供	施策の達成度 A
つる舞の里歴史資料館の企画展については、下鶴間ふるさと館とタイアップし、大和市縁の漫画家・村上もとか氏の作品の魅力を紹介し、好評を得ました。内容に工夫を凝らし、PRに努め、来館者の増加を図りました。 (企画展入場者数：H21年度 1,141人⇒H22年度 2,644人)	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学受講者延べ人数	1,126人	900人	受講定員85名(昨年より15名増)、合計の8割以上の出席率を最終目標にしています。本年度は82%でした。 (延べ人数：H21年度実績 871人 ⇒H22年度実績 1,126人)
(2) おはなし会、読書に関する講演会の参加者数	3,147人	3,750人	H19年度の2,140人をベースとして、毎年15%の参加者増を目指します。
(3) 図書館・生涯学習センター図書室の市民1人あたり貸出図書数	4.57冊	4.43冊	H19年度の3.94冊をベースとして、毎年5%の伸びを目指します。本年度は目標ペースを上回りました。
(4) 生涯学習センター5館の市民1人あたり年間利用回数	4.30回	4.23回	渋谷学習センターは、年5%増、その他の学習センターは年1%の利用者増を目指し、今年度も上回りました。

(5) 各種スポーツ大会の参加者数	10,129 人	9,225 人	H21 年度の参加者数 9,044 人をベースとして、毎年 1%増を目指します。
(6) スポーツ施設の市民 1 人あたり利用回数	5.71 回	6.15 回	H21 年度の利用回数 6.03 回をベースとして、毎年概ね 1%の増加を目指します。施設によっては、目標値を上回っているところもありましたが、東日本大震災の影響と引地台野球場の夏の高校野球の観客数の減少により目標ペースを下回りました。
(7) 歴史文化施設の利用者数	41,452 人	42,600 人	H19 年度の 3 施設利用者合計 41,000 人をベースとして、毎年 1%の増加を目指します。22 年度は企画展の成功により、前年度実績を上回りました。 (H21 年度 39,153 人⇒H22 年度 41,452 人)

2. その他、事務事業に関する特記事項

引き続き、市民が身近な所で気軽に文化・芸術に触れる機会を増やすように努めていきます。平成 22 年度については、つる舞の里歴史資料館・大和郷土民家園・下鶴間ふるさと館の 3 館合同企画事業を実施するなど、新たな取組みを行いました。

また、平成 22 年から図書返却ポストを大和駅と中央林間駅に設置し、市民の読書環境の充実に努めました。

中項目(3) ボランティア機会の提供

〔目標〕 一人ひとりが学習を深め、自らを高めることができるよう、学習成果の社会還元機会として、ボランティア活動を普及し活性化していきます。

主な事業と平成22年度の実績

<小項目①> ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及

- ・ 市民活動センター、社会福祉協議会やまもボランティアセンターなど、ボランティア窓口機関や関係課が一体となって、一人ひとりの市民の視点に立ったわかりやすく信頼感の持てる総合的なボランティア窓口を設置します。
- ・ ボランティア窓口の機能・人員・業務内容を充実させ、窓口やボランティア活動の存在について一般への認知度を向上させ、普及・浸透させていきます。

<小項目②> ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築

- ・ ボランティア登録等の総合窓口を中心に、紹介・実践を持続的に行い、ボランティア市民層の発掘・拡大、研修（受け入れ先機関等との連携企画）、評価（顕彰促進、成果の社会へのPRなど）を行い、活動がより多くの市民の目に触れ、より多くの市民の充実した参加が得られるようにします。
- ・ より多くのボランティア活動メニューを提示し、市民一人ひとりのニーズに応えられるよう、庁内各課・施設・関係機関・団体等へのボランティアの受入について働きかけ、新たなボランティア活動を創出していきます。
- ・ 学習センターを中心に、地区に根ざした活動についてボランティア市民層の発掘、身近で気軽な実践機会の提供、ステップアップに向けた情報提供を行います。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報	2,835 件
事業・講座情報	1,955 件
資格・試験情報	47 件
ボランティア講師制度情報	345 件
市民端末利用者数 (生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)	14,110 人
その他	6,372 件

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

大項目 1 一人ひとりへの働きかけ 中項目 (3) ボランティア機会の提供		総合評価 B
目標の実現に向けて	期待以上の成果が表れている項目がある一方で、目標に届かなかった項目もあり、評価はBとしました。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 ボランティア登録窓口の一元化と認知度の向上・普及	施策の達成度 B
【小項目②】 ボランティア活動の拡大に向けた循環の構築	
生涯学習に関わるボランティアは、重要な役割を担っており、多くの市民にボランティアに関わっていただくことが求められます。また、若い世代がボランティアの関心を高めることにより、将来的なボランティア活動の拡大につながります。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22年度実績	H23年度目標	コメント
(1) ボランティア講師登録者数	171人	225人	H19年度実績の200人をベースとして、毎年3%増を目指しています。本年度は登録者の更新を行ったことにより減少しました。
(2) 夏休み期間中に青少年センター・ボランティア体験に参加した中高生数	28人	44人	H19年度実績の33人をベースとして、毎年1割増を目指します。本年度は64%でした。
(3) 乳幼児期事業参加者数	17,605人	11,815人	参加者数は、毎年5%増を目指しています。今年度は大幅に実績が上回りました。 (参加者数：H21年度 11,253人 ⇒H22年度 17,605人)

2. その他、事務事業に関する特記事項

現在、「生涯学習ボランティア講師の会」など自主的に活動するボランティア団体が多くなってきており、行政と連携、協力を図っています。

今後も、ボランティア活動の拡大を図るとともに、ボランティアが活動しやすい環境づくりに努めていきます。

中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援

- 〔目標〕
- ・各課等で実施しているグループ活動支援に関わる既存事業を整理して「生涯学習・人材育成と地域活動・市民活動の循環」の視点から支援のあり方を見直します。
 - ・市内での役割分担や整合性を図り、テーマ別グループ活動への支援を体系化・システム化します

主な事業と平成 22 年度の実績

＜小項目①＞ 情報収集・蓄積・提供

- ・ 全市的・広域的なテーマ別活動の情報収集・蓄積・提供を行う市民活動センターへ市内各課等が情報を提供するなど、積極的な連携・協力を図ります。

〔再掲〕生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕生涯学習センター

〔事業内容〕 市内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

＜学習情報の提供実績＞

サークル・団体情報 2,835 件

事業・講座情報 1,955 件

資格・試験情報 47 件

ボランティア講師制度情報 345 件

市民端末利用者数 14,110 人

(生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口)

その他 6,372 件

〔活動指標〕 サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

＜小項目②＞ 初動期・発展期のグループ活動への支援

＜小項目③＞ 持続的な支援

- ・ 市民活動推進事業の中で、テーマ別の初動期・発展期のグループ活動への支援を行います。
- ・ 学習センターの学習交流支援システム（市民が企画する講座など、広く一般へ働きかける事業への支援システム）の普及・活動促進を図ります。
- ・ 重要度の高い分野については、市内各課機関等が直接または間接的に持続的なグループ活動支援を行っていきます。

(1) やまと成人式開催事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容] 新成人等で組織する実行委員会に「2011 やまと成人式」の企画・運営・実施を委託しました。

日程：平成 23 年 1 月 10 日（祝） 場所：大和スポーツセンター

運営内容等 ・案内状・チケット等の印刷物のデザイン

・式典及び司会進行

・アトラクション

・託児室の設置 等

参加者：1,476 人（71.9%）

（前年度 1,409 人（72.7%））

[活動指標] 式典参加者数

予定 2,053 人

実績 1,476 人



「2011 やまと成人式」実行委員

(2) 生涯学習振興基金活用支援事業

[担当] 文化振興課

[事業内容] 下記の 1 団体に対し、生涯学習振興補助金を交付しました。

・交付団体「大和市合唱連盟」

実施日：9 月 19 日・10 月 3 日・3 月 6 日

会場：保健福祉センターホール・生涯学習センターホール

<基金残高> 平成 21 年度末現在高 21,039,843 円

平成 22 年度末現在高 20,458,258 円

[活動指標] 補助金申請件数

予定 1 件 実績 1 件

(再掲) 青少年指導者育成支援事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容] 青少年健全育成団体への支援、青少年センターまつりの開催、青少年指導者養成事業を実施しました。

[活動指標] 青少年指導員年間活動数

予定 330 件 実績 465 件

(再掲) 文化芸術振興事業

[担当] 文化振興課

[事業内容] 下記の事業を開催しました。

・コミュニティ音楽館（来場者数 996 人）

・文化祭（出品数 210 点）

・ダンスフェスティバル（出場者数 21 組）

・さくら文芸祭（出品数 137 点）

・第 6 回大和文芸映画祭（入場者数 762 人）

[活動指標] コミュニティ音楽館の開催日数

予定 13 日 実績 13 日

<小項目④> 担い手の発掘・育成・主体創出

- ・ 庁内各課・機関等は、重要度の高い分野で協働可能な領域について、必要な事業・活動の理解者・協力者となる市民を発掘・育成し、組織化を支援するなどして、その事業・活動を担う主体を創出していきます。

(1) 青少年健全育成都市宣言推進事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容]

青少年の育成活動について幅広く市民に啓発を図り、市民総ぐるみの運動として青少年健全育成大会を開催しました。

<青少年健全育成大会の主な内容>

表彰式： 被表彰者 23 人、1 団体
 作文発表： 応募人数 2,371 人（小 20 校、中 9 校、高 2 校）
 作文集掲載者： 31 人
 作文朗読者： 3 人（小 1 人、中 1 人・高 1 人）
 活動発表： 県立大和高等学校演劇部

[活動指標] 青少年問題協議会の開催回数 予定 2 回 実績 2 回

(2) 市立小中学校特別教室の開放事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容]

生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	69 回	722 人	引地台中	55 回	967 人
渋谷小	199 回	3,404 人	渋谷中	1,132 回	19,963 人
林間小	106 回	1,657 人	光丘中	41 回	591 人

※渋谷中学校（特別教室・1 階総合学習スペース（愛称：下和田の郷））の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

[活動指標] 下和田の郷教室事業数 予定 24 事業 実績 24 事業

<小項目⑤> 一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進

- ・ 庁内各課・機関等は、全市的・広域的なテーマ別活動やパイロット的活動が一定の成果をあげた場合の次のステップとして、その活動をより一般化・汎用化して、地区単位活動へ普及・浸透させていきます。

(再掲) 生涯学習情報提供・学習相談事業

[担当] 生涯学習センター

[事業内容]

庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報 2,835 件
 事業・講座情報 1,955 件
 資格・試験情報 47 件
 ボランティア講師制度情報 345 件
 市民端末利用者数 14,110 人
 （生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）
 その他 6,372 件

[活動指標] サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

大項目 2 グループ活動への支援 中項目 (1) 全市的・広域的なテーマ別活動への支援		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目④⑤の2項目について、成果の向上のための対策が必要です。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】情報収集・蓄積・提供	施策の達成度 B
生涯学習に関わる様々な活動を行っている団体をサポートする「市民活動センター」と積極的に連携・協力を図り、相互に情報を共有するとともに、情報を一元化し、情報の発信を図ることができています。	
【小項目②】初期的・発展期のグループ活動への支援 【小項目③】持続的な支援	施策の達成度 B
市民活動を推進するためには、既に活動を行っているグループへの持続的な支援が重要です。また、新規グループの活動の活発化、発展を支援していく必要も生じます。これからも更なる支援を行うためのさまざまな対策を講じていくことが必要です。	
【小項目④】担い手の発掘・育成・主体創出	施策の達成度 B
渋谷中学校の特別教室の開放は市と市民団体「渋谷きんりん未来の会」との協働で行っています。積極的な事業展開を図っていましたが、学校により利用件数が減少した特別教室がありました。引続きPRに努め、利用者の拡大を図ります。	
【小項目⑤】一般化・汎用化と地区単位活動への普及促進	施策の達成度 C
行政が実施している様々な事業をより一般化し、地域の活動として普及・浸透させるよう努めていますが、目に見える成果は上がっていません。今後も引続き、団体を育成し、事業に積極的に取り組んでもらえるような人材の発掘に取り組んでいきます。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22年度実績	H23年度目標	コメント
(1) 音楽・演劇フェスティバル参加者数	1,300人	1,400人	ホールの定員を考慮し、現状維持を目指します。
(2) 青少年指導員年間活動数	456回	330回	毎年活動形態は同じなので、現状維持を目標とします。

2. その他、事務事業に関する特記事項

生涯学習とコミュニティ活動の場の提供として、市立小・中学校の特別教室を開放しており、多くの団体が利用し、活動拠点として地域に定着しています。平成23年度については、新規に3校（つきみ野中学校、緑野小学校、大和小学校）を開放します。

中項目（2）地区単位活動への支援

- 【目標】 広域的・全市的なテーマ別グループ活動への支援とは異なり、テーマ別活動の所管課等の持つ資源を効果的に引き出すなど、より地区の実情に配慮した対応を行うため、連携・協力などのコーディネート機能に重点を置いた支援を目指します。

主な事業と平成22年度の実績

<小項目①> 情報収集・蓄積・提供

- ・ 現在、情報コーナー管理や学習相談など主に社会教育主事・社会教育指導員が実施している各学習センターの機能・体制を強化し、より積極的に身近な地区単位活動の情報収集・蓄積・提供を行います。

（再掲）生涯学習情報提供・学習相談事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 庁内や関係機関などから収集した生涯学習関連情報を、インターネットや情報誌など様々な媒体を使って市民に提供しました。

<学習情報の提供実績>

サークル・団体情報 2,835 件

事業・講座情報 1,955 件

資格・試験情報 47 件

ボランティア講師制度情報 345 件

市民端末利用者数 14,110 人

（生涯学習センター・渋谷中学校開放窓口）

その他 6,372 件

【活動指標】 サークル・団体情報提供件数 予定 3,490 件 実績 2,835 件

<小項目②> 学習交流支援システムの普及・活用促進

<小項目③> 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援

- ・ 各学習センターにおける学習交流支援システム（市民が企画する講座など広く一般に働きかける事業への支援システム）の普及・活用促進を図り、地区における人材育成や学習成果の社会還元を充実させます。
- ・ 庁内各課・機関や団体等が各分野の担い手の発掘・育成・主体創出等で社会教育的事業を行う場合に、各学習センターが共催事業とするなど、連携・協力・支援を行います。
- ・ 各学習センターに社会教育指導員を充実配置し、社会教育主事など専門職員による指導のもと、地区単位活動の連携推進業務を担当させながら、地区の市民感覚と行政・共益への理解とを併せ持つ人材を持続的に地区へ輩出していきます。

（1）学習センター地域文化振興事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 参加団体で組織された実行委員会に委託することにより、実行委員会が主体的に事業の準備・運営に携わり、各学習センターを会場に、サークル等の合同発表会（展示・発表・実演・上映会）として「学習センターまつり」を開催しました。

【活動指標】 生涯学習センターまつり参加団体数 予定 137 団体 実績 182 団体

<小項目④> 持続的な支援

- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、普及・活用・浸透を図ります。
- ・ 庁内各課・機関等の地区単位活動支援について、人材育成等が十分に行き渡り、事業の理解・行動の担い手となる市民層が充実した地区から順次支援対象を市民自治区とし、個別の単位集団への支援業務等を委ねていきます。

(1) 親子ふれあい推進事業

[担当] こども・青少年課

[事業内容] ふれあい広場は推進委員会に、また、親子ナイトウォークラリーは青少年指導員連絡協議会に委託して実施しました。

<ふれあい広場>

開催期間 平成22年10月から平成23年1月まで

開催場所 地区実行委員会12地区、小学校区実行委員会3地区

入場者数 12,792人(前年度8,890人)

<親子ナイトウォークラリー>

実施日：平成22年7月17日(土)

スタート：やまと公園、文ヶ岡小学校、桜森コミセン

ゴール：文ヶ岡小学校

参加者数：153組553人(162組563人)



[活動指標] ふれあい広場開催回数 予定 15回 実績 10回

(2) スポーツ関係団体支援事業

[担当] スポーツ課

[事業内容] 次の団体に対して補助金を交付しました。

- ・地区体育振興会(10地区)
- ・体育協会
- ・スポーツ少年団
- ・レクリエーション協会
- ・軽スポーツ協会

[活動指標] 地区体育振興会連絡協議会開催数 予定 4回 実績 3回

大項目 2 グループ活動への支援 中項目 (2) 地区単位活動への支援		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目②③④について、新たなニーズを発掘する等により、達成度の向上を図る必要があります。	

1. 施策に対する成果と課題

<p>【小項目①】 情報収集・蓄積・提供 施策の達成度 B</p> <p>各学習センターには、社会教育主事や、社会教育指導員が常駐しており、サークルの活動情報など、地域に根ざした活動の情報を提供しました。</p>
<p>【小項目②】 学習交流支援システムの普及・活用促進 施策の達成度 B</p> <p>【小項目③】 担い手の発掘・育成・主体創出等への連携協力・支援</p> <p>各学習センターで行っている地域文化振興事業は、参加団体に組織された実行委員会方式で行っており、年々参加団体が増加しています。しかし、各団体の課題として、所属する会員の高齢化や新規加入者の減少などがあり、支援の強化が必要となります。</p>
<p>【小項目④】 持続的な支援 施策の達成度 B</p> <p>地区単位活動は継続することが重要であり、大きな課題となります。そのためには、事業への参加者の増加と後継者の発掘を行っていく必要があります。</p> <p>今後も引続き、事業展開の工夫と活動の積極的なPRが必要です。</p>

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) センターまつり参加者数	6,145 人	5,700 人	社会教育主事が積極的に働きかけたことにより、まつりへ参加する団体が増え、多くの参加者数を得ることもできました。 (参加者数：H21 年度実績 5,683 人⇒H22 年度実績 6,145 人)
(2) 社教団主催地域文化振興事業参加者団体数	221 団体	202 団体	社会教育関係団体への積極的な働きかけにより、事業運営に参加する団体が増えました。(参加団体数：H21 年度実績 210 団体⇒221 団体)
(3) 青少年センター利用者数	41,282 人	43,500 人	過去 4 年間の平均利用者数の維持を目指します。
(4) ふれあい広場参加者数	12,792 人	18,000 人	平成 21 年度及び平成 22 年度は、開催しない地区があったため、平成 18 年度から平成 20 年度の 3 年間の平均参加者数を目標値とします。
(5) 親子ナイトウォークラリー参加者数	553 人	550 人	過去 4 年間の平均参加数の維持を目指します。本年度も例年通りの成果でした。

2. その他、事務事業に関する特記事項

地区単位活動を活発にするためには、地域の特性や年齢層に応じた活動展開が必要です。親子で一緒にできるような活動や定年退職した市民の方々が活動できるような学習やスポーツの場や機会の提供を今後も行っていきます。

大項目 3

学習空間の確保

中項目（1）既存の生涯学習施設の充実

- 【目標】 ・ 多様な市民ニーズに対応すべく、既存の関連施設の高度活用等を図っていきます。

主な事業と平成 22 年度の実績

<小項目①> 利用しやすい施設づくり

- ・ 利用者の利便性向上のために、施設スタッフの充実と施設利用システムの改善等に努めていきます。
- ・ 快適な施設づくりのために、設備の改善等に努めていきます。

（1）青少年センター施設維持管理事務

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 施設の総合的な維持管理を行いました。

【活動指標】 委託管理件数

予定 16 件 実績 15 件

（2）生涯学習センター会議室等貸出事務

【担当】 生涯学習センター

- 【事業内容】
- ・ 施設利用に必要な団体登録申請に係る事務や登録後の各種変更申請の処理を行いました。
 - ・ 会議室等使用料の収納、利用状況の統計事務、物品・備品の貸出などを行いました。
 - ・ 平成 22 年 3 月に新渋谷学習センターが開館しました。休館日も毎月最終月曜日のみとして、市民の多様化したニーズに合わせています。



【活動指標】 開催日数

予定 1,535 日 実績 1,577 日

＜小項目②＞ 施設の効果的な運営

- ・ 市民協働や民間委託などの手法も視野に入れながら、施設の効果・効率的運営を図っていきます。

(1) 青少年キャンプ施設管理運営事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 このまさわキャンプ場を借上げ、青少年団体や親子に提供しました。

＜利用者数等＞

- ・ 泉の森ふれあいキャンプ場 14,051 人（前年度 15,467 人）

※ 開設日：3～11月…毎日 / 12～2月…土・日・祝日



- ・ このまさわキャンプ場 518 人（同上 587 人）

※ 開設日：8月8日～15日（8泊9日）

稼働率 80.6%（前年度 92.4%）

【活動指標】 泉の森ふれあいキャンプ場開放日数 予定 302 日 実績 303 日

(再掲) 郷土民家園管理運営事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団

年間入園総数：27,943 人（前年度 26,002 人）

【活動指標】 行事参加者数 予定 645 人 実績 335 人

(再掲) 下鶴間ふるさと館維持管理事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 指定管理者による管理・運営を行いました。

指定管理者：大新東ヒューマンサービス株式会社横浜支店

入館者数：7,378 人（前年度 6,096 人）

【活動指標】 一般公開日数 予定 296 日 実績 303 日

(再掲) 図書情報提供事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・ 図書館ホームページでの蔵書検索、新着図書情報などを随時開示するとともに、更新頻度を高めました。

・ インターネットによる予約受付を行いました。

・ ブックリスト・図書館報を作成しました。

【活動指標】 図書情報冊子（ブックリスト）発行部数 予定 8,300 冊 実績 9,500 冊

大項目 3 学習空間の確保 中項目 (1) 既存の生涯学習施設の充実		総合評価 B
目標の実現に向けて	施設ごとに事情があり、評価が難しい面もありますが、維持管理を見直す必要があります。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 利用しやすい施設づくり	施策の達成度 B
利用者の利用促進を図るため、また、施設を安全に、快適に使用していただけるよう適切な維持管理に努め利用しやすい施設づくりを心がけました。	
【小項目②】 施設の効果的な運営	施策の達成度 B
図書館及び新渋谷学習センターについては、民間業務委託を活用し、運営経費削減を図り、かつサービスの質を低下させることなく運営しました。また、文化財関連施設については、平成 22 年度の指定管理終了にあわせて、維持管理方法を見直す必要があります。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) スポーツ施設の市民 1 人あたりの利用回数	5.71 回	6.15 回	H21 年度の利用回数 6.03 回をベースとして、毎年概ね 1% の増加を目指します。施設によっては、目標値を上回っているところもありましたが、東日本大震災の影響と引地台野球場の夏の高校野球の観客数の減少により目標ペースを下回りました。
(2) 青少年キャンプ施設利用者数	泉の森ふれあいキャンプ場		過去 4 年間の平均利用者数の維持を今後の目標とします。本年度は「泉の森」「このまさわ」とともに目標を上回りました。
	14,051 人	14,000 人	
	このまさわキャンプ場		
	518 人	500 人	

2. その他、事務事業に関する特記事項

施設の運営は、市の直営、一部民間委託、指定管理などの手法で行っています。下鶴間ふるさと館については、平成 22 年度末で指定管理が終了します。市民が利用しやすい施設運営を行うため、維持管理方法を検討する必要があります。

中項目(2) 新たな学習空間の確保

【目標】 自然や史跡、広場など、学習空間の確保に努めていきます。

主な事業と平成22年度の実績

<小項目①> 新たな学習空間の確保

・ 閉じられた施設空間だけでなく、開放的な屋外空間の確保にも努めていきます。

(1) 放課後子ども教室推進事業

【担当】 こども・青少年課

【事業内容】 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、また、様々な遊びを通して、協調性や社会性を養う場として、3小学校において下記のとおり実施しました。

<草柳小学校>

参加実績 全71回開催、延べ利用者数2,740人

実施場所 校庭・体育館・児童会室

実施日時 授業のある日の月曜日と水曜日 午後2時から午後5時

<上和田小学校>

参加実績 全72回開催 参加者数2,381人

実施場所 校庭・体育館・PTA会議室

実施日時 授業のある日の月曜日と金曜日 午後2時から午後5時

<南林間小学校>

参加実績 全57回開催 参加者数4,021人

実施場所 校庭・体育館・図書室・プレイルーム

実施日時 授業のある日の月曜日と水曜日 午後2時から午後5時

【活動指標】 放課後子ども教室 1日平均利用者数 予定 100人 実績 143人

(再掲) 市立小中学校特別教室の開放事業

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。

<特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	69回	722人	引地台中	55回	967人
渋谷小	199回	3,404人	渋谷中	1,132回	19,963人
林間小	106回	1,657人	光丘中	41回	591人

※渋谷中学校(特別教室・1階総合学習スペース(愛称:下和田の郷))の開放は、「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

【活動指標】 下和田の郷教室事業数 予定 24事業 実績 24事業

中項目（3）施設配置の再検討

〔目標〕 生涯学習関連施設の今後のあり方を再検討していきます。

主な事業と平成 22 年度の実績

<小項目①> 施設配置の再検討

- ・ 施設の概念を、広く自然や史跡等を含む活動空間としてとらえながら、取り巻く情勢の変化を踏まえて、今後の関連施設のあり方について再検討していきます。
- ・ 今後の関連施設のあり方は、市民や関連部署とともに検討していきます。

（1）文化会館建設基金管理事務

〔担当〕 文化振興課

〔事業内容〕 寄附金の受入れ及び積立金の管理を行いました。

寄附件数 9 件（前年度 2 件）

〔活動指標〕 寄附金受入件数 予定 1 件 実績 9 件

教育委員会の自己点検・評価

大項目 3 学習空間の確保 中項目 (2) 新たな学習空間の確保 中項目 (3) 施設配置の再検討		総合評価 A
目標の実現に向けて	中項目 (2) は期待以上のペースで成果が表れています。中項目 (3) は想定通りの成果が得られています。	

1. 施策に対する成果と課題

中項目 (2) 【小項目①】 新たな学習空間の確保	施策の達成度 A
放課後子ども教室実施校については、平成 22 年度に新たに南林間小学校が加わり、学習空間の確保に努めました。 特別教室の開放事業については、生涯学習の活動の場として市民に定着しています。	
中項目 (3) 【小項目①】 施設配置の再検討	施策の達成度 A
新たな文化施設の建設計画には、学習センターや図書館の移設も予定に入っており、現在多方面にわたり検討を行っているところです。また、文化会館建設基金については、寄付金及び積立金の管理を適正に行いました。	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) 放課後子ども教室実施校数	3 校	19 校	H23 年度までに全小学校で実施し、その後の維持を目指します。
(2) 特別教室開放利用回数	1,602 回	1,920 回	H23 年度には、新規に 3 校の特別教室が開放されます。

2. その他、事務事業に関する特記事項

地域社会における学習機会の提供や学習施設の整備・充実が望まれているなか、放課後子ども教室の開放については、平成 22 年度には新規に 1 校が開放され、全 3 校となりました。平成 23 年度中に全小学校 (19 校) での実施を目指します。

また、特別教室開放事業については、平成 23 年度につきみ野中学校、大和小学校、緑野小学校の 3 校を新たに開放する予定です。

地域における身近な場所で、学習機会の提供ができるよう努めていきます。

中項目 (1) 市民とともに推進する

- 〔目標〕
- ・生涯学習推進協議会の市民参加度を高め、協働による施策の立案・推進を図っていきます。
 - ・個人・グループ単位の市民と協働した事業推進を図っていきます。

主な事業と平成 22 年度の実績

＜小項目①＞ 市民代表機関の充実

- ・生涯学習推進協議会の市民メンバー比率を高めていきます。
- ・生涯学習推進協議会の機能を拡大していきます。

(1) 生涯学習情報提供・学習相談事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習推進協議会は、その制度自体を見直すため平成 21 年度から休業しています。

しかし、「第 3 次大和市生涯学習計画」期間の終了を迎え、新たな生涯学習施策の総合的な進行管理を行う「生涯学習推進計画」を策定するために、社会教育委員会議において審議を行いました。

〔活動指標〕 生涯学習推進計画策定のための会議開催回数
 予定 0回 実績 4回
 催数

＜小項目②＞ 市民と協働で進める事業

- ・ボランティア講師組織の自立化を支援していきます。
- ・学習グループの自主企画講座等の活発化を支援していきます。

(再掲) 講座等開催事業

〔担当〕 生涯学習センター

〔事業内容〕 学習センター毎に、市民ニーズや社会情勢を捉えながら生涯各期に必要な課題や現代的課題に関する学習機会提供を行いました。

- ・生涯各期事業（乳幼児家庭教育講座等） 60 事業（前年度 60 事業）
- ・現代的課題事業（人権平和事業や男女共同参画事業等）
35 事業（同上 29 事業）
- ・その他事業（音楽会や発表会等） 72 事業（同上 30 事業）
- ・協働事業（渋谷中学校） 24 事業（同上 24 事業）

〔活動指標〕 開催講座数
 予定 130 事業 実績 191 事業

大項目 4 推進体制の確立 中項目 (1) 市民とともに推進する		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①②ともに、今後のさらなる取組みが必要です。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】 市民代表機関の充実	施策の達成度 B
【小項目②】 市民と協働で進める事業	
<p>市民が自主的に取り組みを行うためには、学習グループなどの自主企画の講座開催数及び参加者数を増やすことなどが必要となります。学習センターで行っている講座も、開催件数は予定を上回っており、成果は出ています。</p> <p>(開催講座数：H22 年度予定 130 事業⇒実績 191 事業)</p>	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22 年度実績	H23 年度目標	コメント
(1) 市民主催講座参加者数	3,282 人	4,500 人	市民主導の講座を活性化し、参加者の増加を目指します。
(2) 「下和田の郷」協働事業来館者数	10,461 人	9,500 人	渋谷中学校総合学習スペースの大きさ等を考慮し、現在の参加者数維持を目指します。

2. その他、事務事業に関する特記事項

市民と協働で進める事業では、学習グループが自主的に活動できるようなサポート体制が必要です。そのためには、関連する講座の開催や、社会教育主事、社会教育指導員などによるアドバイスが必要であり、専門職のスキルアップが重要となります。市では、毎年社会教育主事資格者を増やすとともに、専門講座を受講することにより力量を高めます。

中項目（2）関係機関と連携して推進する

- 【目標】
- ・市の出資する財団・公社との役割分担を明確にして、相互補完と連携による事業推進を図っていきます。
 - ・必要に応じて、高等教育機関や民間教育機関等との事業連携を図っていきます。

主な事業と平成 22 年度の実績

<小項目①> 財団・公社との連携

- ・ 財団・公社の事業採算性と公益的責務をふまえた市との役割分担を明確にします。
- ・ 財団・公社の公益的責務に着目し、行政の事業領域を委ねていきます。

（1）スポーツ・よか・みどり財団支援事業

【担当】 文化振興課

【事業内容】 スポーツ、緑化推進活動、その他多様な余暇活動のための事業を実施している財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団を支援しました。

（財）大和市スポーツ・よか・みどり財団運営費補助金

【活動指標】 市からの派遣職員数 予定 3人 実績 3人

<小項目②> 関係機関との連携

- ・ 高度で専門的な学習機会の提供事業などを、大学や民間教育機関と連携して推進していきます。
- ・ 行政の事業領域の見直し。

（1）読書活動推進事業

【担当】 図書館

【事業内容】 ・各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

（実績） おはなし会 73回実施・1,549名参加
読書講演会 全3回実施・延べ79名参加
子ども読書活動推進講座 全1回実施・延べ26名参加
一日図書館員 全3回実施・53名参加

- ・大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・大和市子ども読書活動推進実施計画の実施



【活動指標】 講座等実施回数 予定 88回 実績 80回

大項目 4 推進体制の確立 中項目 (2) 関係機関と連携して推進する		総合評価 B
目標の実現に向けて	小項目①②ともに、想定される範囲内の達成度でした。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】市が出資する財団・公社との連携	施策の達成度 B
【小項目②】関係機関との連携	
<p>(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団は、豊かで個性ある市民文化の増進に寄与することを目的としています。それぞれの役割分担を図りながら、事業を行うことができました。</p> <p>また、大学や専門講師との連携により市民大学や読書講演会を実施することにより、関連機関と連携した事業の推進が図られているものと考えます。</p>	

(参考：おもな成果の指標)

成果の指標	H22年度実績	H23年度目標	コメント
(1) やまと市民大学講座受講者延べ人数	1,126人	900人	受講者定員合計の8割以上の出席率を最終目標にしています。本年度は82%でした。
(2) 出前講座「どこでも講座」申込件数	13件	20件	講座のタイトルや内容を見直し、広くPRに努める等活性化を図り、申込み件数の増加をめざします。

2. その他、事務事業に関する特記事項

(財)大和市スポーツ・よか・みどり財団との連携・情報交換を緊密に行いながら、公益財団法人への移行を支援しました。

中項目(3) 総合行政として推進する

- 〔目標〕
- ・ 関連部署による協議組織の機能を充実していきます。
 - ・ 各部署が取り組みやすい環境を整えていきます。

主な事業と平成 22 年度の実績

<小項目①> 全庁的協議組織の設置

- ・ 生涯学習推進調整会議（生涯学習事業を実施している担当課長会議）を設置し、全庁的な施策の推進を図ります。
- ・ 事業内容検討委員会及び特別教室開放推進委員会を設置し、事業調整を図ります。

〔再掲〕 市立小中学校特別教室の開放事業 [担当] 生涯学習センター

〔事業内容〕 生涯学習の活動の場として、市内の小中学校の特別教室を開放しました。
 <特別教室の開放の実績>

学校名	開放回数	利用者数	学校名	開放回数	利用者数
中央林間小	69回	722人	引地台中	55回	967人
渋谷小	199回	3,404人	渋谷中	1,132回	19,963人
林間小	106回	1,657人	光丘中	41回	591人

※渋谷中学校（特別教室・1階総合学習スペース（愛称：下和田の郷））の開放は「渋谷中学校学校開放管理運営委員会」、市民団体「渋谷きんりん未来の会」及び大和市との三者の協働事業として行いました。

〔活動指標〕 下和田の郷教室事業数 予定 24 事業 実績 24 事業

<小項目②> 各部署の取り組み推進

- ・ 全庁的な意識づくり、共通認識を醸成していきます。
- ・ 具体的な取組方針や、事業フレームを明確にしていきます
- ・ 生涯学習主管部署が、全庁にわたる関連事業についての進行管理を行っていきます。

〔再掲〕 読書活動推進事業 [担当] 図書館

〔事業内容〕

- ・ 各種おはなし会・文学講座などを開催しました。

（実績）

おはなし会	73回実施・1,549名参加
読書講演会	全3回実施・延べ79名参加
子ども読書活動推進講座	全1回実施・延べ26名参加
一日図書館員	全3回実施・53名参加

- ・ 大和市子ども読書活動推進会議の開催
- ・ 大和市子ども読書活動推進実施計画の実施

〔活動指標〕 講座等実施回数 予定 88回 実績 80回

＜小項目③＞ 生涯学習所管部門の整備・充実

- ・ 明確な目標設定のもと、推進体制（組織）を一元化していきます。
- ・ 適材適所の人材配置に努めます。

（１）文化財保護審議等運営事務

【担当】 文化振興課

【事業内容】 文化財保護審議会を開催し、市指定重要文化財の指定案件について審議しました。また、文化財保護指導委員による巡回調査を実施しました。

- ・ 文化財保護審議会 2回開催（前年度2回）
- ・ 文化財保護指導委員会議 2回開催（同上 2回）
- ・ 指定文化財等巡回調査 2回実施（同上 2回）

【活動指標】 審議会開催数 予定 2回 実績 2回

（２）社会教育委員会議運営事務

【担当】 生涯学習センター

【事業内容】 社会教育委員は、教育委員会により委嘱され、社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会の諮問に応じて意見を述べたり、調査研究等を行っています。

社会教育委員の構成（22年3月現在）

第26期社会教育委員の任期2年（平成21年6月1日～23年5月31日）

委員定数 15名以内： 現在 11名（男性5名・女性6名）

内訳：学校教育関係者 1名

社会教育関係者 1名

家庭教育の向上に資する活動を行う者 3名

学識経験者 6名

＜＜1 社会教育委員の会議＞＞

平成22年度は次のような会議等を行いました。

① 定例会 4回

第5回

協議 1 平成22年度社会教育関係団体への補助金について

協議 2 社会教育委員会議から選出する委員について

協議 3 社会教育委員に関する研修会等について

報告 1 平成22年度社会教育関係の主要な事業について

第6回

協議 1 平成21年度社会教育関係団体活動内容等について

協議 2 大和市生涯学習計画について

報告 1 平成23年度生涯学習振興補助金選考結果について

報告 2 平成22年度社会教育委員に関する研修会等について

第7回

協議 1 大和市子ども読書活動推進計画について

報告 1 特別教室新規開放に向けた方針について

報告 2 大和市文化スポーツ部の所管施設に係る指定管理者の候補者の審査結果について

施設名 大和郷土民家園

大和市スポーツ施設設置条例規定施設

報告 3 平成22年度社会教育委員に関する研修会等について

その他 生涯学習推進計画について

第8回

協議 1 大和市生涯学習計画について

協議 2 大和市社会教育関係団体等補助金交付要綱の改正について

報告 1 平成 22 年度社会教育委員に関する研修会等について

その他 生涯学習推進計画について

② 神奈川県社会教育委員連絡協議会 理事会 2回

③ 神奈川県社会教育委員連絡協議会 総会・研修会・地区研究会 3回

⑤ 高相管内社会教育委員連絡会議

⑥ 神奈川県公民館大会

《2 関連する会議の委員》

社会教育委員は、その職務の性質から次の委員の委嘱を受け、それぞれの会議に出席しています。

① 生涯学習振興補助金審査委員

② 青少年問題協議会委員

③ 子ども読書活動推進会議委員

④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事

⑤ (仮称) 大和市文化芸術振興条例検討会議

社会教育委員会議を開催するほか、神奈川県社会教育委員連絡協議会の地区研究会、研修会に出席しました。

＜会議等開催回数＞

・社会教育委員会議定例会 4回 (前年度 4回)

・社会教育委員会議図書部会 0回 (同上 4回)

・社会教育委員会議臨時会 0回 (同上 1回)

・地区研究会 3回 (同上 2回)

・研修会 1回 (同上 0回)

・生涯学習振興基金選考会 0回 (同上 1回)

【活動指標】 会議の開催回数 (定例会)

予定 4回

実績 4回

大項目 4 推進体制の確立 中項目 (3) 総合行政として推進する		総合評価 B
目標の実現に向けて	成果の評価を行うことが難しい項目ですが、成果達成のために、様々な工夫を行う必要があります。	

1. 施策に対する成果と課題

【小項目①】全庁的協議組織の設置	施策の達成度 B
特別教室の開放事業にあたっては、前年度と同様に、市の関係各課、小・中学校で組織する「特別教室開放推進委員会」を開催しました。活発な意見交換を行うことにより、会議の活性化を図りました。	
【小項目②】各部署の取り組み推進	施策の達成度 B
子どもが本に親しみ、読書意欲を高めるため、各種のおはなし会や講演会、講座等を開催するなど、積極的に取り組みました。	
【小項目③】生涯学習所管部門の整備・充実	施策の達成度 B
市指定重要文化財の指定案件について審議する「文化財保護審議会」、社会教育における諸施策を審議する「社会教育委員会議」は、前年度と同様に開催しています。	

2. その他、事務事業に関する特記事項

地域の人材の活用や教育機関、民間企業や各種団体との連携をさらに深め、総合的な学習機会の提供を図っていきます。

